

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ウルトラ・イラプション</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.040</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ウルトラ・イラプション**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

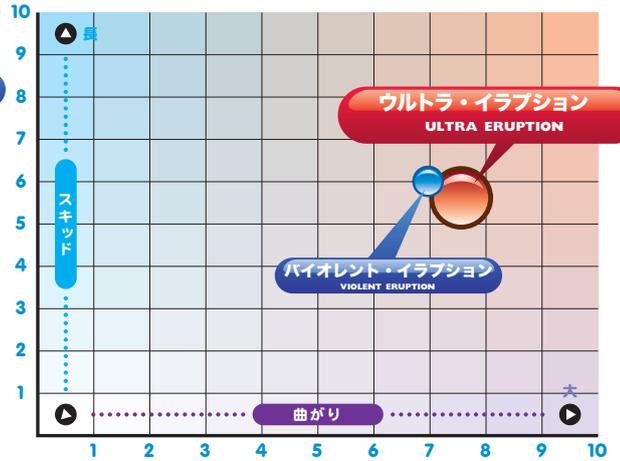
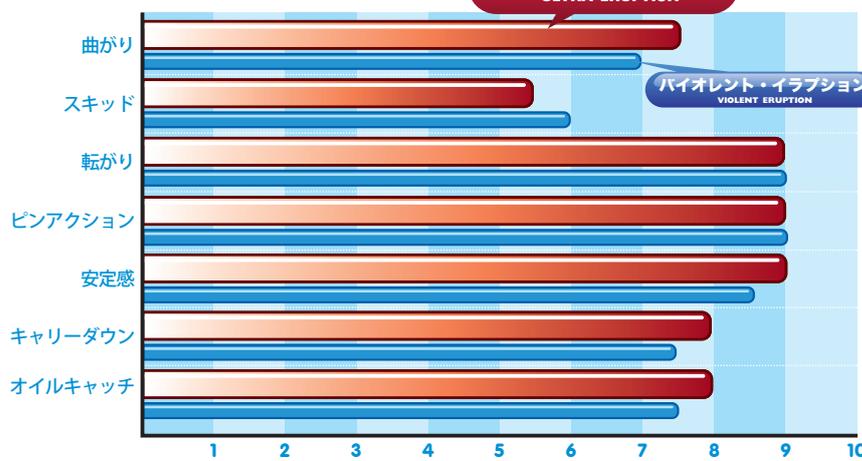
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：バイオレント・イラプション**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

2011年コロンビア社のベストセラーの初代イラプションから始まり、このシリーズに共通して言えることは、やはり「ミッドプライスにおける性能と質」でしょう。イラプション独特のミッドエリアの曲り始め、柔らかくフリップにフィニッシュするバックエンドモーション、ピンを低く飛ばす能力。やや遅めになったコンディションで対応幅が広いリアクティブの戦闘力とコントロール性とを併せ持つ柔らかいキレは攻撃力を持ち、「安定感と攻撃性」という矛盾とも言えるものがイラプションにあったからこそ、多くのユーザーを魅了し、今まで多くの皆様に愛されてきたのだと私は思います。

今回のUltra ERUPTIONは、シリーズの中でもやや上位のカバーストックを使用し、スキッドレベルをイラプションとイラプションIIの間に設定して、バイオレントイラプションのような、やや角がでるバックエンドモーションを開発コンセプトとして求めました。私達開発スタッフが数あるスペックの中からこのボールをチョイスしたのは、「内と外のオイル対応領域」でした。外に向けてもしっかりと戻れるけれども戻り過ぎず、内に向けたけどオイルに弾かれ過ぎないキャッチのバランスを特にこのUltra ERUPTIONでは調整をしています。幅を感じられることは悪いことではなく、そういうボールを持つことで「武器にできるか否か」は大きな違いになります。手前から良く転がり、ピンヒットまで転がり続ける持続性と初代イラプションから受け継ぐ、「この領域を制覇する宿命を背負う」性能として満を持してこのUltra ERUPTIONの発売です。ミッドプライス領域で無二の性能をお探しのかたは是非このボールをお試しください。

### 特記事項

**人気のグリーン/ゴールドの配色で、ピンヒットまで良く転がります。コロンビア社のこの領域は評価が高く、市場から早目になくなる可能性がありますのでオーダーはお早めに。**